



「世界遺産国際専門家会議」 信仰と共に育まれた空間も重要

本遺産の本質的価値について 最終的な調整

多くの世界的な価値を秘めた遺産 「国際学術研究報告会」

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録を目指すに当たり、各分野の専門家に調査研究を依頼し、研究成果を提出してもらいました。10月12日、同13日、福岡市で、当遺産群の価値をさまざまな角度で捉えた研究成果の報告会を開きました。

報告会の最後には、報告した専門家が、「沖ノ島、その世界的な価値を探る」をテーマにパネルディスカッションを実施。パネリストから、「東アジアとの交流の証を示す唯一無二の存在」「海を介した文化的景観」などに続く生きた信仰の場」などのキーワードが繰り返し発言され、世界的価値を多く秘めている遺産であることが結論付けられました。

問い合わせ先
世界遺産登録推進室
☎(62) 2617



国内外の専門家が一堂に会し議論

宗像市と福岡市、県で組織する「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議が10月14日、同15日、福岡市で国内外の専門家を招いた会議を開きました。

会議には、ユネスコ世界遺産委員会に「関係するダグラス・コマーさん（イコモス考古学遺産管理委員会共同委員長）ら8人と、国内から、イコモス委員で古代史を専門とする佐藤信（まこと）さん（東京大学大学院教授）ら5人の専門家が出席。本遺産の本質的な価値、類似遺産との比較研究、推薦書での表現方法など、多岐にわたる議論してもらいました。



本遺産の世界的な価値を探る
パネルディスカッション

海を介してつながっていたことを肌で感じてもらいました。会議では、海と人との関わりから生まれた信仰であること、また、この信仰と共に育まれた景観も重要であることが指摘されました。

今後、会議での指摘事項をさらに研究し、来年度、本遺産の推薦書を文化庁に提出します。

企業も応援!! 世界遺産登録活動



店内のパネル展示で世界遺産登録活動をPR

遠賀信用金庫も「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産登録活動を応援しています。同金庫は「宗像・沖ノ島と関連遺産群」応援定期を平成26年1月31日(金)まで実施し、PR活動に協力。世界遺産登録活動支援金として預入金額に応じた寄付も予定されています。

また、同金庫各支店では「宗像・沖ノ島と関連遺産群」パネル展示にも協力しています。市では、今後も地元企業による世界遺産登録活動の応援の輪を広げ、世界遺産登録に向けて活動していきます。

- 展示期間/場所
▽12月17日(火)～平成26年1月6日(月)/古賀支店
▽同1月8日(水)～同31日(金)/むなかた支店
- 問い合わせ先 世界遺産登録推進室 ☎(62) 2617

「オガチマンス」で 世界遺産登録活動をPR

市と宗像・沖ノ島世界遺産市民の会では、9月をオガチマンス(世界遺産強調月間)として、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録活動をPR。みあれ祭前夜祭花火大会やプロジェクトマッピングなど、さまざまなイベントを実施しました。その一部を紹介します。

50人の出演者が熱演! むなかた三女神記

今年で5年目を迎えた、市民参加型ミュージカル・むなかた三女神記の公演は、宗像の子どもたちを中心とした約50人が出演。新たなス



子どもたちが熱演した「むなかた三女神記」

トリー・演出となった第3章「野を駆ける夢の風」に取り組みました。9月14日、宗像ユリックス・イベントホールでの本公演では、約1000人が観劇しました。来場者からは「歴史ある宗像に住

んでいることを再確認した」「プロではないかと思うほどレベルが高く、感動した」などの声がありました。

宗像の歴史を 宝探しで体験

遊びの中で宗像の歴史を肌で感じてもらうと、9月21日、同22日、宗像大社辺津宮で「宝探し in 宗像大社」を開催。約400人が参加しました。参加者は、宝箱のありかを示す謎が書かれた地図を片手に境内を歩き回り、真剣な表情



こま犬に隠された謎に迫る親子

神迎え・灯籠の道

で宝箱の中の謎に挑んでいました。参加者からは「謎解きが難しかったけれど楽しかった」「宗像大社がこんなに広いと思わなかった」などの声がかれました。

本殿の改修など、宗像大社の工事を一手に引き受ける宮大工の協力を得て、木製灯籠を制作しました。灯籠のパネルには、子どもや世界遺産登録を応援する人たちが、沖ノ島や宗像三女神だけでなく、海やカノコユリなど、思い思いの絵を描きました。9月30日、10月3日、旧玄海小学校から海の道むなかた館までの県道に80基の灯籠を飾り、幻想的な空間をつくりました。



市民手作りの灯籠

【おわびと訂正】広報紙11月15日「ふるさとから世界遺産を!」の文章の中で、「江戸時代、一甲斐越智氏・河野氏が沖津宮の神事を実施してこられた」と表記しましたが、正しくは、沖津宮の神事を実施してこられたのは一甲斐河野氏のみです。お詫びして訂正します。問い合わせ先 世界遺産登録推進室 ☎(62)2617